



がんばろう!東北

仙建線路グループだより 紋



【協力会社紹介】 株式会社羽沢建設 青森出張所 青木所長

4月から所長に就任いたしました青木浩文と申します。

弊社は「列車の安全」、列車に乗車している「お客様の安全」、現場で作業している「作業員の安全」、この3つの安全をモットーにし、工事に従事しております。



《課題》

社員の年齢構成は、20代～40代が28名中14名と半数を占める一方、55歳以上が13名おり、今後は若手人材の確保が必要です。各種資格の取得状況に偏りがあるため、全体的にバランスよく取得を進めたいと考えています。

《重点実施事項》

労災事象が続いているため、これ以上発生しないよう、全社員が緊張感を持って作業に取り組みます。特に軌陸バックホウや軌陸ダンプを使用する工事が多いため、取り扱いには十分注意します。

《若手育成の方針・進め方》

新入社員が入社した際は、1年間教育係を配置し、計画的に指導を行っています。今年9月に入社した新入社員にも、先輩社員を教育係として担当させています。入社4年目の若手社員は、8月に軌作責を取得し、弾性PCマクラギ交換工事で軌作責として活躍しています。

《トピックス》

○2025年度 安全大会の開催(9.29)

今年度の安全大会を「過去の重大事故の振り返り」をテーマに、仙建盛岡支店の須藤安全部長を来賓に迎えて開催しました。大会では「触車」「感電」「墜落」といった鉄道三大事故や、「虚偽」「隠ぺい」事象についてのビデオを視聴し、事故・事象の悲惨さを改めて認識しました。これを踏まえ、同様の事象を自職場で絶対に起こさないという意思統一を全員で図りました。



今年は青森中央消防署から部外講師を招き、「応急手当と救命処置」をテーマに、心肺蘇生やAEDの使用方法について講義と実技講習を実施しました。講習会には本社から社長をはじめ、須藤安全部長にもご参加いただき、いざという時に備えて役立てられるよう、特にAEDの取扱手順には熱心かつ真剣に取り組みました。その結果、全員が「普通救命講習修了証」を取得することができました。今後も社員の知識と技術力の向上に向け、さまざまな取り組みを進めていきます。



講習会(講義風景)

講習会(実習風景)

○機械化推進…アンダーカッター使用で道床交換施工

2025年11月19日から22日の4日間、津軽線瀬辺地構内(23K261.7M～276.7M、延長15.0m)において、アンダーカッターを使用した道床交換を実施しました。津軽線の作業間合いは128分と短く、さらに初めての施工で段取りが不十分だったことから、1日の施工数量は少なめとなりました。しかし、作業員からは「道床固結の掘削が容易になった」「慣れれば施工延長も増えるのでは」といった前向きな意見が寄せられています。今後も省人化や労力軽減に向け、積極的に活用していきます。



アンダーカッター①



アンダーカッター②

《職場のホープの紹介》

○乳井 凱士(にゅうい かいと) 30歳

(2023年6月入社)

前職は料理人で、料理と製菓作りのプロとして有名レストランで勤務していました。丁寧さや根気強さは、その経験で培ったものだと思います。職場ではムードメーカーとして周囲を明るくしてくれる存在です。今後のさらなる成長を期待しています。



《鉄道経験》2年6か月

《抱負》怪我をしない!

《特技》料理、お菓子作り

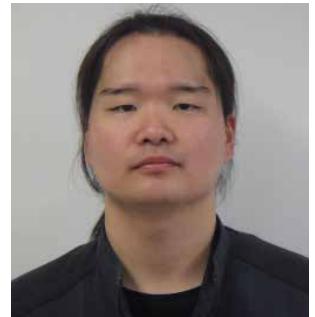
《趣味》キャンプ、パチンコ

《夢》マイホームを建てる。

○工藤 志温(くどう しおん) 20歳

(2024年4月入社)

青森出張所で最年少の社員です。穏やかな性格で一見おっとりしていますが、最近スポーツカーを購入し、車への情熱を燃やしています。今後、弊社を担うホープとして、さらなる成長を期待しています。



《鉄道経験》1年8か月

《抱負》仕事を任せもらえるよう、

しっかり手順、内容を把握して働く。怪我に注意する。

《特技》絵を描くこと

《趣味》洗車(購入したばかりの新車)、ゲーム

《夢》資格をたくさん取る。列車見張員は取得したが、

この先、軌工管まで目指したい。